

# 環境保全行動計画書 自動車使用管理計画書

## 1 基本方針

当社は、総合医療機器商社として、多くの医療機関に各種医療機器を提供しています。

こうした中で、全社員が、自動車の二酸化炭素排出量削減の意識を持ち一丸となって環境への負荷の低減に取り込みます。また、地球環境問題の当事者と考え、事業活動における環境への負荷の低減に心掛けます。そして、持続可能な社会の現実と地域社会への貢献を目指します。特に 地域温暖化の防止（二酸化炭素の削減）に関する事項を重点的に取組、社員一人ひとりが環境問題の対応を認識し、事業活動のあらゆる場面で考慮していきます。

## 2 行動目標

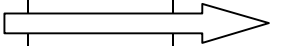
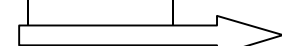
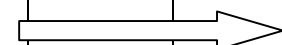
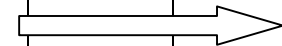
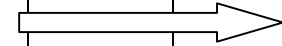
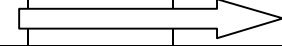
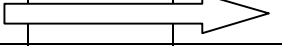
計画期間

平成21年4月1日～平成24年3月31日

行動目標	管理対象排出量等 A	目標削減率 (%) B	目標排出量等 $A \times (1 - B/100)$	管理項目	管理対象排出量等の設定根拠
電気 (kwh)	238,377.0	1.3	235,278.1		
A重油 (kl)	110,823.9	1.3	109,383.2		
軽油 (kl)	133,358.0	1.3	131,624.3		
ガソリン	106,720.0	1.3	105,332.6		

- 1 管理対象排出量等は目標排出量等を設定するときに、基準となる排出量等です。
- 2 管理項目は、マネジメントの対象項目です。削減対象とする燃料等です。
- 3 目標削減率 (%) は管理対象排出量等に対する削減率です。
- 4 目標排出量等は管理対象排出量等と目標削減率 (%) から算出して下さい。
- 5 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車に関する目標を設定して下さい。

3 行動計画

目標	行動計画（取組内容）	20年度実施状況	目 標		
			21年度	22年度	23年度
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	昼休みや残業時の不要な照明を消す	一部の部署	実施		
	更衣室、書庫、会議室等の不要な照明を消す	実施している	実施		
	ブラインド・カーテン等の適切な使用により冷暖房負荷を軽減する	実施している	実施		
	コピー機は節電モードで使用する	実施している	実施		
	近い階への移動はエレベーターを使用せず階段を使う	実施している	実施		
	室内基準温度を設定する。ボイラーの温度設定を80度。冷暖房は、28度。	実施している	実施		
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	アイドリングストップの実施	実施している	実施		
	積載効率や配送時間、配送ルート等を再点検し、効率的な配送に務める	実施している	実施		

#### 4 環境保全に係る実施組織体制

本社 管理本部総務部 統括責任者 管理本部長

所管する行動計画

営業車両109台の二酸化炭素排出量低減を図る為の提言を各部署責任者を通じて指示し、排出量の削減を基本指針とする

本社 管理本部総務部 車両責任担当

自動車使用管理計画についての所管業務

全車両の運用管理、車両更新、法定点検、事故処理手続

所管する行動計画

アイドリングストップの社内徹底、同じユーザー先方面への1台相乗り励行  
急発進・急加速の抑制指示、不要な荷物の積載をさせない指示、

札幌中央支店 責任者 支店長

所管する行動計画

安全運転チェックの確認

スピードダウンの励行、定期点検整備、計画的な運転、空ふかしをさせない

札幌西支店 責任者 支店長

所管する行動計画

安全運転チェックの確認

スピードダウンの励行、定期点検整備、計画的な運転、空ふかしをさせない

アイドリングストップ

札幌白豊支店 責任者 支店長

所管する行動計画

安全運転チェックの確認

スピードダウンの励行、定期点検整備、計画的な運転、空ふかしをさせない

アイドリングストップ、公共交通機関の利用

新札幌支店 責任者 支店長

所管する行動計画

安全運転チェックの確認

スピードダウンの励行、定期点検整備、計画的な運転、空ふかしをさせない

アイドリングストップ、

## 5 その他（公表の方法、環境保全活動の取組み）

自動車使用計画取り組みの公表はムトウホームページを使用、その他この計画に関結果の記録、規定を管理本部で保管し、自動車の使用に伴う環境への負荷の低減をしたい。 <http://www.wism-mutoh.co.jp/>